



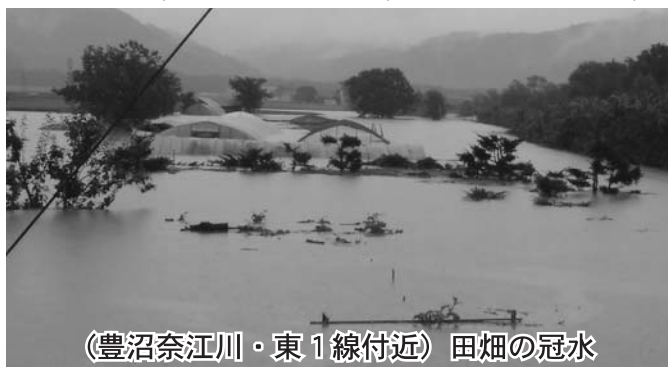
市長特別行政報告

8月20日(土)からの大雨による被害状況について、市長より特別行政報告がありました。このうち、概算被害総額は4億4千394万6千円で、公共被害3億9千132万6千円、非公共被害5千262万円と報告されました。

また、報告に対する質疑も行われ、被害状況と復旧スケジュール、災害対策本部の設置・運営、関係機関や団体との連携、避難勧告と避難所開設・運営、被災者の救済支援、地域防災計画の見直しなど多岐にわたり論議を交わしました。

◎公共被害内訳 道路被害1億3千890万円、河川被害2億2千210万円、公園・緑地被害1千885万4千円、農業用水路被害106万円、森林被害16万8千円、その他1千24万4千円

◎非公共被害内訳 商業被害20万円、農業被害5千242万円

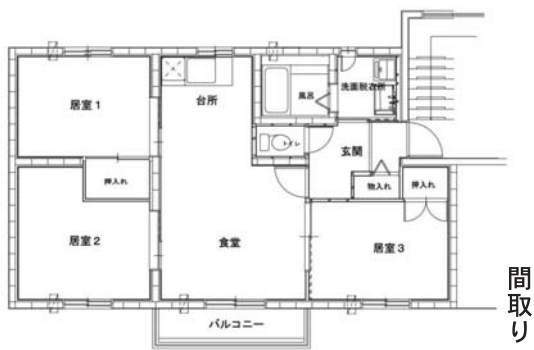


(豊沼奈江川・東1線付近) 田畑の冠水



(道々文珠砂川線) 土砂崩れ

住宅外観



間取り

(詳細 砂川市建築住宅課)

移住定住促進住宅の入居者を募集中です!
市内の企業等に勤務し、市外から通勤されている方を対象とした市営住宅の入居申込を、11月4日まで受付しています。
住宅は市内空知太に位置し、間取りは3DKです。

病児・病後児保育事業がスタートしました!
病中または病気の回復期にあるお子さんを就労などのために家庭で保育できない場合に、保護者にかわり保育する事業が10月24日にスタートしました。
施設は砂川市立病院南館にあります。
(詳細 砂川市社会福祉課)



病児・病後児保育室

編集後記

いよいよ紅葉も終盤を迎え、一刻と北海道の厳しい冬へと向かっておりますが、ここ砂川市では「観光」という分野で小さな芽を出そうとしています。まだまだ他市町村と比べると遅咲きではありますが着実にその一歩を踏み出そうとしていきます。少子高齢化、若者の都市部への人口流出、それに伴い内需の更なる低下が予想される今、観光産業というのは裾野が広く、既存の農・商業界に好影響が出るだけでなく、新たな地場産業が創出される可能性もあり、明るい未来を創造するうえで、交流人口の増加は欠かすことのできない政策です。

しかしながら、我々議員は皆様から納められた税金の使い道をしっかりと精査しなければなりません。行政と議会が両輪となり、民間の活力をお借りしながら効果的に前進させられるよう努めていきます。

(多比良和伸)

議会広報編集委員会

- 委員長 多比良 和伸
- 副委員長 武田 真
- 委員 佐々木 政幸
- 委員 中道 博
- 委員 武田 圭介



※市議会だよりは資源保護のため再生紙と植物油インキを使用しています。